

# 自治会活動事例集作成に 係るアンケート結果



鴻巣市

## 1 アンケートの目的

市では、自治会・町内会（以下、「自治会」）を中心とした地域のまちづくり活動が一層活発になるために、「自治会活動事例集」の作成を検討しています。

事例集は、地域共通の課題に対する解決案・対応策や、地域特有の活動・自慢の活動を収集・掲載し、自治会の皆様と共有し、活動を発展させたいときや困ったときの参考にご活用いただけるようにしたいと考えています。事例集作成にあたり、現状や課題、活動内容などを把握するため、本アンケートを実施しました。

## 2 アンケートの方法

- (1) 対象 令和4年12月現在 鴻巣市に登録のある全自治会（233）
- (2) 期間 令和4年12月15日～令和5年1月31日
- (3) 方法 アンケート記述式
- (4) 回答状況

地区名	総数	回答数	回答率
鴻巣地区	28	24	86%
箕田地区	28	26	93%
赤見台地区	12	6	50%
田間宮地区	28	18	64%
馬室地区	18	16	89%
松原地区	17	16	94%
笠原地区	19	16	84%
常光地区	20	18	90%
吹上地区	31	23	74%
川里地区	32	23	72%
合計	233	186	80%



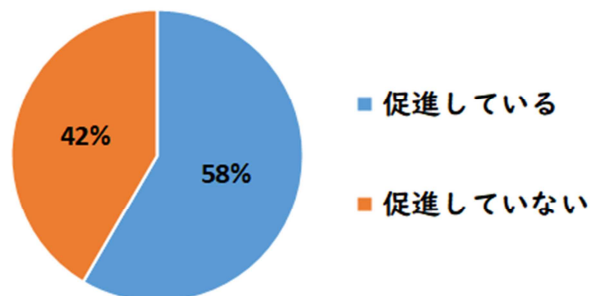
### 3 アンケートの結果

問1 自治会への加入促進をしていますか。

	件数	比率
促進している	107	58%
促進していない	76	42%
合計	183	

※無回答

3



#### 1 促進している場合の具体例（抜粋）

- 不定期だが、町内のニュースや事業について「宮本町かわら版」を全戸に配布している。
- 新店舗に町内会への加入をお知らせしている。
- 新築アパートの場合は、管理会社及び個別訪問をして加入促進しています。建売住宅の場合は個別訪問加入促進しています。
- 転入者が増えている中、地元への帰属意識が全般的に低下している。役員会や理事会において適宜協議して対策を練る。
- 加入促進のためのパンフレットの配布、広報「みやじ」を毎月1日作成し回覧配布している。町内会へ入会のメリット（安心・安全と環境の良い街）をアピールした。
- 加入案内リーフレット配布と同時に、「避難行動マニュアル」を配布し、呼びかけた。
- 不動産業者が、ごみ置き場のことで訪問があったとき、入居者に加入案内と入会届をセットにして渡してもらうようにしている。
- 地区内で分家または新規転入者があったときは3役で訪問し、加入を促進している。
- 具体例として近くに新築一戸建て住宅が11軒でき、それぞれ入居されました。早速自治会入会のパンフレット、自治会の役割他についての案内文を配布しましたが、入会されたのは、3軒だけで非常に残念であり、難しいと感じました。



#### 2 促進していない場合の理由（抜粋）

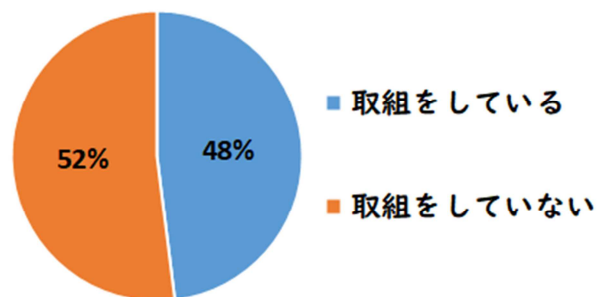
- 本会の全部の活動は、昔からの年番の諸活動と連動しており、地域性や地域愛が強く昔からの住民がほとんどで、その住民のほとんどが自治会員となっている。調整区域なので住民の出入りがほとんどないので、特に取り組む必要を感じない。

## 問2 自治会活動の参加者を増やすための取組をしていますか。

	件数	比率
取組をしている	86	48%
取組をしていない	93	52%
合計	179	

※無回答

7



### 1 取組をしている場合の具体例（抜粋）

- ・町内会、組織（執行部）の改革、「みえる化」を図り、また役員・理事の仕事の活性化（職務分掌）等を進めている。
- ・役員の高齢化が進み交代ができない。働きながらも若い人が町内会活動に参加できる組織づくりを行っている。仕事のマニュアル化・資料づくりを行っている。
- ・防災訓練の参加をアピールしてもなかなか参加者が増えないため、餅つき大会と合わせ、参加しやすいよう工夫をしている。
- ・特にクリーン運動は、年6回計画しているが広報配布時に回覧で周知を図っている。
- ・当町内では独自の行事はないが、クリーン運動には、①通知を4週間前に回覧開始、②2週間前に再通知を回覧開始している。
- ・コロナ禍のため、この3年間は全体的に活動は停滞気味だったが、クリーン運動時、多くの参加者があることから、実施日を利用して防災訓練（発電機取扱い）・消火器取扱い・消火器点検（設置26か所）などを行った。ほかは、回覧板を利用した様々な伝達。口コミによる伝達。
- ・「松原会館」運営4自治会の定例会等で状況等の情報交換をしたり、対策の検討を行っている。
- ・町内会役員のほかに町内会行事や活動を推進する役の「南2まちづくり委員会」を設けて、行事の企画から参加してもらっている。
- ・町内会独自の回覧を作成して参加を促している。結果報告も回覧している。

### 2 取組をしていない場合の理由（抜粋）

- ・地域的に新しい家が建たない。
- ・コロナ禍であるため、積極的な取組みを控えている。
- ・住民の高齢化により自治会活動への参加意欲が乏しい。

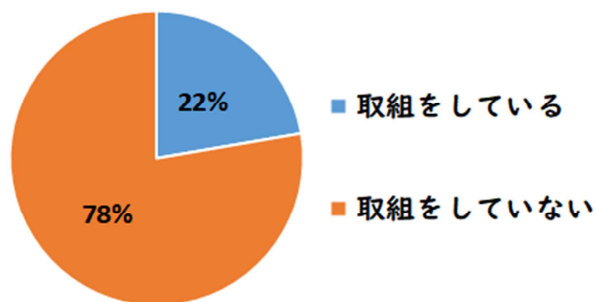


### 問3 自治会の退会防止の取組をしていますか。

	件数	比率
取組をしている	41	22%
取組をしていない	143	78%
合計	184	

※無回答

2

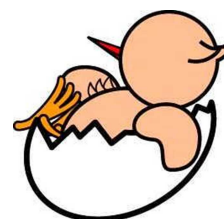


#### 1 取組をしている場合の具体例（抜粋）

- ・コロナ禍において事業活動は中止となった。そのため、町内会費の検討を行い半額とした。
- ・ごみ集積所の改善、清掃。美化活動、環境改善、ネットボックスの設置促進、周辺の清掃活動。
- ・高齢化が進む中、見守りや声かけ、相談等を行い、地域のコミュニティが失われないようにする努力。
- ・集金と回覧の仕事のみの軽減班長職を用意し、班長職にはついていただく。
- ・死亡・転居以外は会員にとどまってもらう。班長、各役務などは免除することを認める。
- ・会長の考えとして文書を回覧したいと考えていて、「高齢になり、班長など役員をできなくなっても退会せず、役員免除で班に残ってほしい（回覧と会費納入だけ義務）」とガイドラインを伝えたい。
- ・高齢者家庭を回り、各班長が声をかける。
- ・80歳以上は役員を辞退できる。
- ・役職に無理がある人は退会する傾向にあるため、役職を免除して会員に留まるようにしている。
- ・ご近所トラブルの相談を受け、アドバイス等実施している。
- ・回ってきた役ができない場合は他の役をお願いしている。

#### 2 取組をしていない場合の理由（抜粋）

- ・退会希望者がいない
- ・自治会会員の自主性、意思を尊重
- ・最近、急な転居、賃借関係、空き家等実態把握が困難な傾向がある

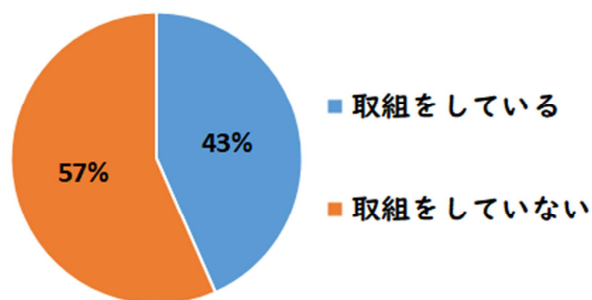


問4 自治会活動の負担を軽減する取組をしていますか。

	件数	比率
取組をしている	76	43%
取組をしていない	99	57%
合計	175	

※無回答

11



1 取組をしている場合の具体例（抜粋）

- ・増班・増区を行い、班員の軒数を減らしている。
- ・町内会運営は理事が担っている。大きな祭事は、班長会議を行い参加を募っている。
- ・年間行事の中で玉入れ大会・敬老会は中止（廃止）とした。今の時代に合わないとの理由。
- ・役員の間での業務分業を図るべく職務分掌を行っている。会長へ集中していた業務を分散、担当制への移行。
- ・行事の開催においては、事前に開催賛否をとり、各人に役割を決めて行っている。
- ・班長職軽減のため、会員アンケートを取り、令和4年度より、夏祭り・敬老会・運動会のイベント廃止。
- ・行事内容の縮小。平日実施行事は土・日曜日に変えた。会議の時間変更。午後5時、6時実施の時間を午前中に変更。
- ・毎月、役員会議を開催し、業務軽減や役割分担の調整など図っている。またNPO団体と協働し、各イベントを開催している。
- ・1年交代の役員であり、経験が活かされない。そのため自治会サポート隊を立ち上げ、自治会活動を支援している。
- ・各役務の招集化やボランティアへの移行。若い世帯に仕事や、子育てを優先していただき、パートや仕事を半休や有休をとるなどやめてもらう。
- ・顧問制度（自治会経験者）によるサポート・各イベント実施の際は経験者によるサポート
- ・自治会役員の任期を少なくするようにしている。

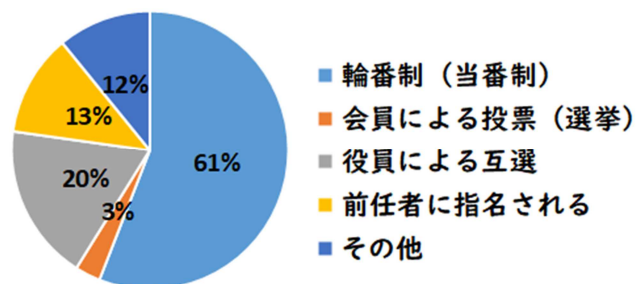
2 取組をしていない場合の理由（抜粋）

- ・現在はコロナの影響もあり、ほぼ活動がない。
- ・高齢化で役員が困難という方が退会している現実があり、役員定年制導入など今後話し合う必要がある。



問5 自治会長はどのように選出されていますか。

	件数	比率
輪番制（当番制）	113	61%
会員による投票（選挙）	6	3%
役員による互選	37	20%
前任者に指名される	24	13%
その他	22	12%
合計	202	



※比率は回答した自治会数（186自治会）に対する割合

選出方法について具体例（抜粋）

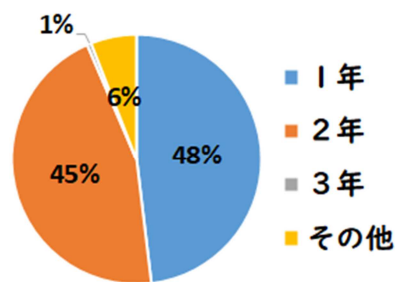
- ・班ごとの輪番制を今年度より導入。会長職務内容を書面等で引き継げるようにして、半年前より班内で話し合いをし、選任してもらう。
- ・役員改選時に選考委員会を立ち上げる。選考委員は現職の意向を確認し退任する役員の次候補者を探す。選考委員は役員 OB によりその都度選任する。

自治会長の任期

	件数	比率
1年	89	48%
2年	84	45%
3年	1	1%
その他	11	6%
合計	185	

※無回答

1

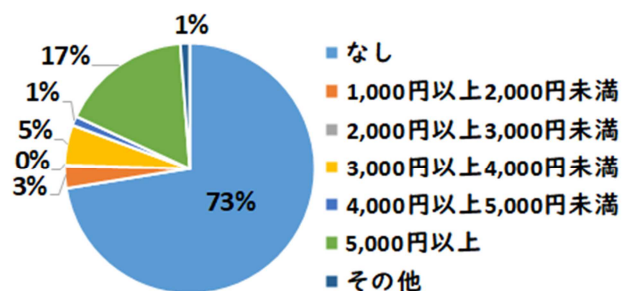


問6-1 自治会の入会費（入会金）はいくらですか。

	件数	比率
なし	120	73%
1,000円以上2,000円未満	5	3%
2,000円以上3,000円未満	0	0%
3,000円以上4,000円未満	7	5%
4,000円以上5,000円未満	2	1%
5,000円以上	28	17%
その他	2	1%
合計	164	

※無回答

22

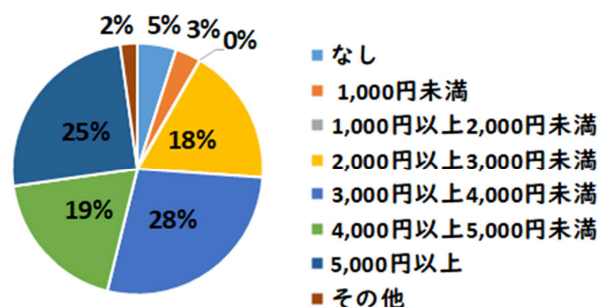


問6-2 1世帯当たりの年会費はいくらですか。

	件数	比率
なし	9	5%
1,000円未満	6	3%
1,000円以上2,000円未満	0	0%
2,000円以上3,000円未満	32	18%
3,000円以上4,000円未満	50	28%
4,000円以上5,000円未満	34	19%
5,000円以上	45	25%
その他	4	2%
合計	180	

※無回答

6

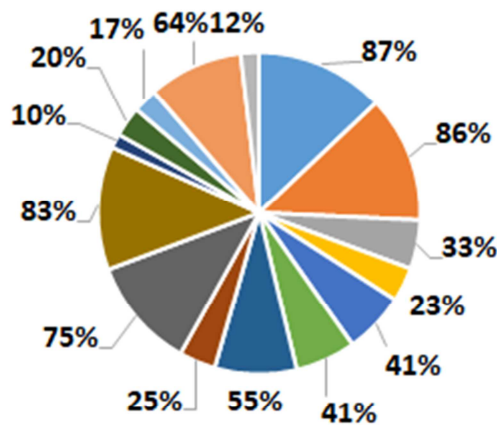


問7 現在、実施している事業を教えてください。(複数回答可)

	件数	比率
1 チラシ等の回覧	162	87%
2 ゴミ集積所の管理	160	86%
3 掲示板の管理	61	33%
4 会報の発行	43	23%
5 夏祭り等	77	41%
6 防犯パトロール	76	41%
7 防災活動	103	55%
8 避難訓練	46	25%
9 各種募金活動	140	75%
10 清掃活動	155	83%
11 花壇の維持管理等	18	10%
12 子ども向けの行事	38	20%
13 高齢者サロン活動	31	17%
14 見守り活動	119	64%
15 その他	23	12%
合計	1252	



※比率は回答した自治会数(186自治会)に対する割合



- 1 チラシ等の回覧
- 2 ゴミ集積所の管理
- 3 掲示板の管理
- 4 会報の発行
- 5 夏祭り等
- 6 防犯パトロール
- 7 防災活動
- 8 避難訓練
- 9 各種募金活動
- 10 清掃活動
- 11 花壇の維持管理等
- 12 子ども向けの行事
- 13 高齢者サロン活動
- 14 見守り活動
- 15 その他



## 継続実施を検討している事業（抜粋）

- ・防災活動
- ・自治会専用の掲示板をゴミ集積所に設置。1週間の掲示、管理を行う。
- ・今年度初めて実施した「馬室小学習支援活動」は6年生対象に呼びかけ、25名の参加があった。（谷津自治会館）来年度は自治会活動ではなくて「馬室小学校学習支援隊」というNPO活動で実施していく。自治会・馬室自治会連合会からの支援をいただく。
- ・馬室陸橋の清掃・下閘観音の清掃・ボランティア隊のパトロール清掃は、ボランティア事業として今年から個人的に有志を集って始めた。継続は個人の自由なので未定であるができるだけ実施したい。
- ・今期は初めて「防災備品食材」を使い、自治会の公園内で炊き出し訓練を消防団の協力を得て行った。（30名参加）

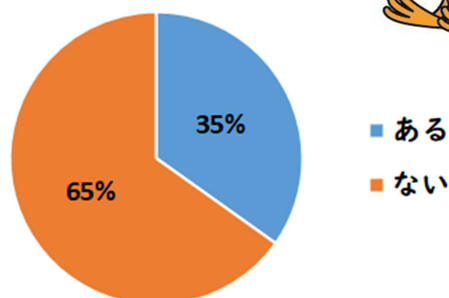


### 問8 自治会活動で現在力を入れている活動はありますか。

	件数	比率
ある	62	35%
ない	116	65%
合計	178	

※無回答

8



### 具体例（抜粋）

- ・マンションと地元の交流。マンションはセキュリティが厳しく、各戸のコミュニティが取りづらい。隣に誰が住んでいるのかも分からないが、エレベーター内にチラシ等を貼ってもらっている。今年度町内夏フェスタ開催時は、多くのマンション住民も参加、協力していただいた。町内活動に関心を持っている方も多くいると思う。
- ・防災活動及び救命講習。R5.2.26に防災訓練を実施。無線機を利用して情報伝達訓練を実施。救命講習参加20名が修了証をもらう。
- ・「宮地町内会チームルーム」スマホによる情報の共有化、行事予定の連絡。役員どうしの携帯（スマホ）を利用し、何でも自由に掲示板に書き込み、情報の伝達化を図っている。  
このシステムに参加していると、いつでもどこでも予定を確認できる。また自分の予定に早めに組み込める。情報の共有化で役員のコミュニケーションのアップを図れる。連絡の落ち度がないように紙による通知も必要。

- ひばり野2丁目検討委員会を設置。
  - ①今後の自治会のあり方を討議予定 ②イベントの代替を検討。
- 自主防災訓練 ①親子 AED 研修会②救急救命講習会（2回）動画作成をし、YouTube に投稿した。行動マニュアルの動画を作成し、机上シミュレーション訓練を実施した。
- コミュニティバス停近くの美化。花を植える。馬室陸橋の定期的清掃活動。コロナ禍で総会が3年開催されず、新事項は総会決議が必要なため、何一つ新しいことが認可されない。ボランティアのパトロール隊を作り、通常の会員参加のパトロールをサポートする形で、7人でそれぞれ自由に実施している。
- ごみ集積所の屋根を付けた。ペンキを塗った。床板を修繕した。内側に目の細かい網を張った。火・金：燃えるゴミ：赤袋、月：不燃：青袋、木：フィルム類：黄袋、前日の午後〇、当日の朝◎と単純な指示版を作り掲示した。周辺をきれいにしておくことを徹底した。みんなに気持ちよく利用していただけるようになり、違反もほとんどない。
- 地域内全住民を対象とする行事の企画、実施している（さつまいも、大根の栽培、収穫会、景観形成等）

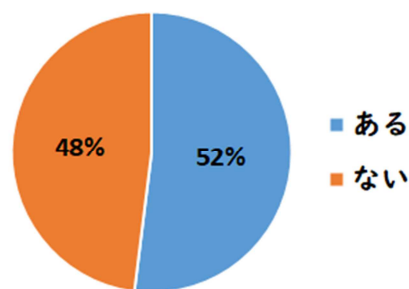


### 問9 コロナ禍での自治会活動で工夫していることはありますか。

	件数	比率
ある	92	52%
ない	85	48%
合計	177	

※無回答

9



### 具体例（抜粋）

- コロナ禍で活動制限をしていますが、毎月役員会を開催し、役員会で活動に対する相談をしている。また、自治会費についても活動減のため、下期会費を0円とした。
- 役員・班長会議の席の配置や会議時間（長時間を避ける）、行事中止の早期判断
- ごみゼロ運動（春・秋）は期間を決め、日は班長に一任し、班ごとに行った。
- 大人数集団の会議等ではなく少人数に分けて回数を増やして開催した。

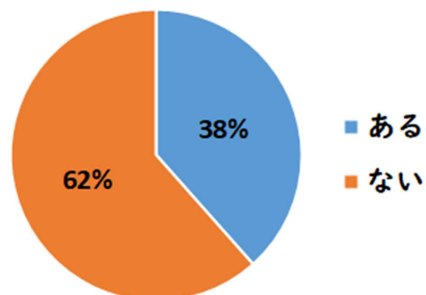


問10 今後、取り組みたい活動はありますか。

	件数	比率
ある	68	38%
ない	109	62%
合計	177	

※無回答

9



### 具体例（抜粋）

- 地域の小学生とお年寄りを対象とした「夏休みラジオ体操会」を各神社の境内や公園で実施したい。
- 自治会への新規加入者の促進を遂行するにあたって、入会していない世帯の把握と入会を勧める活動を行いたいと考えています。また、新役員獲得のための活動と育成方法について検討したいと考えています。
- 現状の役員輪番制をやめ、30世帯くらいの有志を募り運営していくことに取り組みたい。
- 班内の人数が5～10人とバラバラで各役員は班の輪番が原則だが、少ない班での不満がある。しかし、古い「五人組」を基にした班によるため、班の改編を言い出していいものかどうか迷う。仏事の関係が大きく変化しつつあるので、可能性がないわけでもない。

